

第1学年

「身近な人々と関わりながら思考を深め、自信をもって活動できる子の育成」
～「トマトパーティーをしよう」の実践を通して～

設楽町立田口小学校 金田 千賀

子1 主題設定の理由

(1) 子どもの実態から

本校は、愛知県北東部に位置し、緑豊かな山間部にある。ここ数年で児童数が大幅に減少し、本実践当時の全校児童数は61名、第1学年の本学級は男子4名女子4名の極小規模校である。子どもの特質として、互いの長所や短所を理解し合っており仲良く過ごせるという良さがある。一方、友達関係が固定化してしまい、多くの友達と関わり多様な考えに触れたり、多様な考えの中から自分の考えを見つめ直したりすることが難しい環境にある。

5月になり、小学校の日課や学習に少しずつ慣れ、入学時の緊張がほぐれ、少しずつのびのび過ごせるようになってきた。特に生活科の学習は、学校探検や名刺交換などの体験的な活動が多く、子どもたちの楽しみな教科の一つとなった。このように学習意欲が高く好奇心旺盛な子どもたちに、意図的に様々な人々との関わりをもたせることで、少人数学級での固定化された人間関係の殻を破らせたい。そして、いろいろな人々を知り、人との関わり方や新しい知識を身に付けることで、自分に自信をもち、さらに活動に対する意欲を高めていきたいと考えた。

(2) 学習指導要領から

学習指導要領の生活科の教育目標は、「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う」である。また、指導の重点として、「身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようにする。」とある。このことから、身近な人々との関わりを深めることで、自分の成長を感じたり意欲や自信を高めたりできるようにすることが、生活科で求められている。

(3) 本会の研究テーマを受けて

本会の研究テーマ「自らの生活を切り拓く子ども一子どものつぶやきに耳を傾け、対話を大切に、思考を深める授業」を受け、「自らの生活を切り拓く子ども」→意欲や自信をもって活動できる子と考えた。そのような子どもを目指すために、子どものつぶやきに耳を傾けながら、意図的に身近な人々と関わらせ、知識や関わり方を学ぶ中で、自分自身に自信をもち、意欲的に生活できる子どもを育てたいと考えた。

2 研究の目標

子どもが、身近な人々と関わりながら活動し、思考を深めていくことで、自分自身に対する自信をもち、意欲的に活動できるようになるための支援方法、指導方法を明らかにする。

3 研究の仮説と手だて

仮説1：子どもが、一単元を貫く目標をもつことができ、その目標に向かって活動できるような単元構想を組めば、子どもの意欲を支え続けることができ、目標達成まで息の長い活動をすることができるだろう。そして、その目標をやり遂げたことによる達成感を感じることで、自分自身の成長に気付くことができ、自信をもって活動できるようになるだろう。

手だて① 単元の終末に、全校児童や職員、保護者、保育園児を招いて「トマトパーティーを開く」活動を位置付け、「パーティーをする」という目標を常に意識しながら活動できるようにする。

② 子どもたちが大好きな「調理をして試食する」という活動を単元の核となる活動としてくり返し取り組み、「パーティーをする」という目標に向かっ

て、意欲を支え続けられるようにする。

仮説2：子どもが、地域の様々な人々と関わる事ができる場を意図的に設定していけば、地域の人々を知ったり、教えてもらったりすることで、人との関わり方を知ったり、新しい知識や考え方に触れたりすることができるだろう。また、様々な人々を招いて「トマトパーティー」をすることで、喜んでもらい感謝される経験をする事で、自分自身の良さや成長に気付くことができ、自信をもって活動できるようになるだろう。


手だて① 苗の植え方や調理方法を学校応援団の方に教えてもらう機会をもち、地域の方々を知り、関わりながら活動できるようにし、人との関わり方を知り、様々な知識を得ることができるようにする。

② 友達と協力し合って活動する場を設定し、関わり合いながら活動をやり遂げる経験ができるようにする。

③ 単元の終末で、全校児童や職員、保護者、保育園児を迎える「トマトパーティー」を開き、多くの方に喜んでもらう経験ができるようにする。

4 単元構想

4 単元の指導計画（20時間完了）○教師の指示、発問・子どもの姿 ☆支援・留意点

<p>○学級園で育てたいものを決めよう。①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなものを作ろうかな。 ・おいしくて食べられるものがある。 ・「りりこトマト」を育てて食べよう。 	<p>☆教科書に掲載されている野菜を参考にしたり、これまでの取り組みを紹介する。</p> <p>☆子どもたちの興味関心を大切にす。</p>
<p>○「りりこ」ってどんなトマトかな？②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カゴメっていう会社からもらえるんだ。 ・ジュース用のトマトなんだね。 ・トマト料理をたくさん作りたいな。 	<p>☆りりこトマトについて、雨に強く育てやすいことや加工用のトマトであり調理に向いていることを伝える。</p>
	
<p>「トマトパーティー」を開いて、みんなで食べよう。</p>	
<p>○トマトの苗はどうやって植えるんだろう。③④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校応援団のIさんに教えてもらおう。 ・苗を植えるのは大変だな。 ・トマトがたくさんなるように、お世話をしよう。 <p>○苗が大きくなってきたら、どんなお世話をするのかな。⑥⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支柱を立てないと真っ直ぐ伸びないんだ。 ・わき芽をとらないと、トマトがたくさんならないのか。 ・トマトっていろいろなお世話をしないとイケないね。 <p>○トマトがたくさんできたね。⑧⑨⑩⑪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマトを冷凍しておこう。 ・トマトソースを作って冷凍しておこう。 ・早くトマト料理を作りたいな。 <p>○トマト料理を作ろう。⑫⑬⑭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校応援団の「いちごの会」の方に教えてもらおう。 ・トマトっていろいろな料理ができるんだね。 ・トマト料理っておいしいな。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また作ってみたいな。 ・もっと食べたいな。 ・いろいろな人を呼んでパーティーをしたいな。 	<p>☆「トマトパーティー」を開きたいという思いをもたせる。</p> <p>☆学校応援団の方との交流を通して、苗の植え方や調理方法を教えて頂く。</p> <p>☆ゲストティーチャーを迎えるときの礼儀や態度、感謝の気持ちを育てる。</p> <p>☆観察記録をとっていき、トマトの育ちやお世話について理解し、振り返られるようにする。</p> <p>☆記録や写真などを掲示していき、活動の確認や振り返りができるようにする。</p> <p>☆トマトを冷凍保存し、2学期から調理に取り組みできるように準備しておく。</p> <p>☆いろいろなトマト料理に取り組み、その中からパーティーのメニューを考えられるようにする。</p>
<p>○「トマトパーティー」の準備をしよう。⑮⑯⑰⑱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな料理を作ってあげようかな。 ・たくさん料理を作ろう。 ・招待状や引換券を作って渡そう。 ・プログラムや看板を作ろう。 	<p>☆これまで作った料理を自分たちで作るようにする。</p> <p>☆グループや学級全体で準備を進めるようにし、友達と関わりながら活動させる。</p>
<p>○「トマトパーティー」を開こう。⑲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童、先生、家の人を招待しよう。 ・保育園の年長さんを招待しよう。 ・たくさんお客さんが来てくれてよかったね。 	<p>☆料理別のお店屋さんを聞きそれぞれのお店屋さん（グループ）で協力しながらパーティーを進められるように</p>
<p>↓</p>	
<p>○「トマトパーティー」大成功だったね。⑳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが喜んでくれた。 ・頑張って準備してよかった。 ・「おいしい。」って言ってもらえて嬉しかった。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・またいろいろな人に喜んでもらいたいな。 ・また1年生で力を合わせて何かやってみよう。 	<p>☆振り返りを行い、今後に向けての願いをもたせる。</p>
